

# 東伊豆町立熱川小学校

## 出前授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和7年1月16日(木)



「東伊豆にも縄文時代の遺跡があることを知り、歴史の学習がより身近に感じられるものとなりました。」

東伊豆町立熱川小学校の5・6年生50人が、学校隣地にある東伊豆町立図書館で開催している当センターの里帰り展『大昔の東伊豆～稲取中峯遺跡の出土品～』に合わせて、展示品の見学と土器の分類、火起こしの2つの体験を行いました。



### 里帰り展の出土品の解説



今から約6,000年前に東伊豆に住んでいた縄文人の生活出土品をもとに解説しました。

「住んでいる近くに遺跡があることに驚きました。」



「縄文の遺跡は弥生になったらどうなったのか疑問に思いました。」



### 土器の分類体験

縄文土器、弥生土器、須恵器の3種類の土器片を完形土器と見比べて分けてみました。色や文様、厚さや肌触り等それぞれの土器の特徴をよく観察して分けることができました。

「焼く温度が上がることで、丈夫さや色が変わるのが面白いと思いました。」

「時代によって色や厚さ、模様などが違うことが分かりました。」



### 火起こし体験

ほとんどの子が火起こしをしたことが無かったのですが、テレビ番組では観たことがあるようでした。もみぎり法や弓ぎり法、火打ち法等も知っていました。簡単に説明と試技をして、いざ実践です。少し慣れてくると上手に弾み車を回していましたが、なかなか火種にならない子もいました。フーフータイムも上手くいく子もいれば火種が無くなってしまいう子もいて様々でしたが、火がつくと大喜びでした。

「木をこすり合わせるだけで火がつくことに驚きました。」

「簡単だったけど、腕が疲れました。」



### 先生方の感想

「東伊豆にも縄文時代の遺跡があることを知り、歴史の学習がより身近に感じられるものとなりました。5年生は歴史に興味をもつきっかけとなり、6年生は学んだことを実体験を交えて復習する機会となりました。感想発表以外にも質問に答えてくださり、子どもたちの学びが深まりました。説明も丁寧で安心して体験することができました。子どもたちにとっても、とても貴重な体験となりました。ありがとうございました。」

